



宗我坐宗我都比古神社 (そがにいますそがつひこじんじや)



近鉄真菅駅のすぐ近く、奈良県橿原市曾我町にある神社。古代豪族の蘇我氏に関係する神社として知られる。

※1 (宗我⇒曾我：地名に鎮座する宗我都比古神を祀る社)



鳥居をくぐった直ぐ左側に、磐余神社にある万葉歌碑と同じ歌(巻12-3087番歌)を刻んで奉納された歌碑がある。

磐余神社 (いわれじんじや)

曾我川のすぐ近くの真菅の地にあり、古くから中曾司、松塚、土庫の3つの村の郷社として祀られてきました。祭神は神倭磐余比古命(かむやまといわれひこのみこと)、「いわれひこ」といえば、初代天皇として即位された神武天皇のことです。



① 入り口の鳥居をくぐってすぐ左手には、万葉歌碑が建っています。

(巻12-3087番歌 作者不詳、揮毫者 日本画家 岡橋邦領)

真菅(ますげ)よし 宗我(そが)の河原に 鳴く千鳥
問無(まな)しわが背子(せこ) わが戀(こひ) ふうくは

真菅村の村名は、この歌が由来となっており、「宗我の河原」はこの近くを流れる曾我川を指しています。

境内は広く、更に奥へ進んでいくと、蔽島神社(市杵島姫命)があり、周りは池になっています。また、その近くに善光寺の如来堂や稲荷神社も建っています。



自分の体調に合わせて
ウォーキングを
楽しんでください!!

行程 75分、9,200歩、5.5km

※：時間、距離、歩数はあくまでも目安です。

万葉歌碑をウォーキング!! シリーズIII 真菅方面を歩こう!! (真菅駅～磐余神社～曾我川緑地公園～人麿神社～八木駅)



橿原市内には、32基もの万葉歌碑があり、ウォーキングには絶好なコースとなります。これらを巡り、千年の時を超えての万葉人の息吹と情景を感じながら、ウォーキングを楽しむ、素敵な時間が過ごせますよ。

曾我川緑地

曾我川の東岸、橿原市と大和高田市との市境界にあり、県実施の大和川総合治水環境整備事業の一環として遊水地機能とレクリエーション、コミュニティの場として設置された都市緑地です。平成14年度に完成し、園内には、体育館、テニスコート、多目的広場、ちびっこ広場、遊水池などがあり、市民の憩いの場として親しまれています。また、初冬にはヒマラヤザクラが咲き、目を楽しませてくれます。

一方、洪水時には遊水地としての機能を果たし、橿原市をはじめ大和川流域の人々の安全を担っている施設でもあります。



人麿神社



人麿神社は、万葉歌人で三十六歌仙である柿本人麻呂を祭神とする神社です。解体修理で発見された棟木銘から康永四年(1345年)の建立であるようです。この社は、葛城市(旧新庄町)柿本神社から分霊されたといわれています。

② 万葉歌碑(巻2-208番歌)
(作者：柿本人麻呂、揮毫者：歌人 前川佐美雄)

秋山の、黄葉(もみち)を茂み 迷(まと)ひぬる
絲(いと)を求めむ 山道(やまぢ)知らずも

豆知識：地名「真菅」は何と読むでしょうか?

答：「ますげ」と「ますが」の二通りの読み方があります。
①「ますが」：近鉄大阪線の「真菅駅」や「真菅北小学校」は、「ますが」と読んでいます。
②「ますげ」：この辺りは、明治22年に高市郡曾我、土橋など10村が合併し高市郡真菅村が出来、「ますげむら」と呼ばれました。万葉集の「真菅よし 宗我の河原に鳴く千鳥 問無しわが背子がわが戀 ふうくは」に由来しているといわれています。現在は、「真菅小学校」や「真菅幼稚園」は「ますげ」と呼んでいます。

地名の中に今も万葉の世界が
生きているなんて、ロマンを
感じますね。



令和3年2月作成
橿原市運動普及推進員協議会